


審査結果報告書

2024年1月15日

主査 氏名 林 俊治 

副査 氏名 宮地 鏡 

副査 氏名 天羽 康之 

副査 氏名 飯田 嘉彦 

1. 申請者氏名 : 向坂 俊裕

2. 論文テーマ : Changes in the preoperative ocular surface flora with an increase in patient age: A surveillance analysis of bacterial diversity and resistance to fluoroquinolone

(眼科手術前における眼表面細菌叢の加齢による変化: 細菌の多様性とフルオロキノロン耐性の調査)

3. 論文審査結果 :

眼表面の細菌叢に関する研究は、眼科領域の特殊性もあり、検討が十分に為されてきたとはいえない分野である。本研究は眼表面の細菌叢が多様なものであることを明らかにした。その多様性は皮膚の細菌叢に匹敵する。また、分離される菌数が加齢によって上昇することも明らかにした。高齢者は白内障の手術を受けることが多く、本研究の結果は高齢者の眼の術後感染のリスクを強く示唆している。研究の方法としては、細菌の検出を培養法によって行っており、生きた菌のみのデータである点も評価できる。

フルオロキノロンは眼科領域で最も汎用される抗菌薬であり、眼表面から分離される細菌のフルオロキノロン耐性は、上記の術後感染を含む眼感染症の治療不全につながる危険性がある。本研究により、加齢に伴いフルオロキノロンに対する耐性率が有意に上昇する菌種が存在することが明らかになった。この結果は高齢者の眼の術後感染が難治性になる危険性を示唆している。特に、耐性率が上昇する菌種の中にメチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) が存在することについては、今後に向けて注意が必要である。

以上の研究成果は今後の眼科診療に大きな利益を与えうるものである。公開審査では適切な発表が行われ、討議も活発に行われた。また、質疑に対する回答も適切であった。以上より、本研究は博士の学位に値するものと判断された。